

# 愛の家

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

かがやき  
利用者さんの  
作品



みさき  
利用者さんの  
作品



きぼう  
利用者さんの  
作品



## おかげさまで50周年

### 愛の家

- 入職から1年半が過ぎて
- 入職1年目を振り返って
- 年末年始に旅行にいきたい…という相談

### あいハート須磨・離宮前

- 春へむけて
- 新型コロナに負けず

### あいハート須磨

- 常食化PT取組み報告 3

### 令和2年度 第3四半期 運営状況

251号

2021 February

## 入職から 1年半が過ぎて

■かがやき3丁目 古川 智香子

愛の家に入職して1年半が過ぎました。一昨年の5月から支援員として、昨年の4月より正職員としてかがやき3丁目で勤務しています。

私は、この仕事に就くまで人と関わる事が苦手でした。目を合わせることも、会話をすることもできず、社会経験もありませんでした。嫌なことからはずっと逃げばかりだったので、今の私があるのは、見えないところで私を支えてくれていた他人の存在があったからだと気付きました。そう感じるようになってから、「今度は私が支える立場になろう。」と思い、この仕事に挑戦してみようと決心しました。

未経験で知識も無く、支援についても何もわからない状態で、このままやっていけるのかと自信がありませんでしたが、仕事が出るようになって、楽しいと思え



る気持ちが増えていくのを実感しています。そう感じるのは、親身になって指導してくださる職員さんや支援員さんが居るからです。

利用者さんからも日々、学ばせてもらうことが沢山あります。一人ひとり、違った個性があり、支援をしていく中で難しいと思うこともあります。お互いの気持ちを通じ合っていて、嬉しい表情が見られた時は、とても嬉しい気持ちになります。また、悲しい表情にさせてしまった時は、何が良くなかったのかと反省をしています。

これからも、出来る可能性を引き出していけるように自分の力

で考え、周囲と協力し合いながら支援に努めていきたいです。

「この仕事をやって良かった!」と自信を持って言えるように、いつも初心を忘れず、相手の立場になって考え、不安にさせないよ

うに気を配り、これからも一生懸命に仕事に取り組んでいきますので宜しくお願い致します。



## 入職1年目を 振り返って

■グループホームみさき 新家舞

こんにちは。グループホームみさきの新家です。私は、昨年の4月に入職し、もう少しで1年が経ちます。今回原稿を担当するにあたり、愛の家での1年間の振り返ってみたいと思います。

まず初めに、グループホームに配属が決まった時、「どうしよう。どんな仕事をするのだろう。」と不安と焦燥感でいっぱいでした。

しかし上司の方や先輩方は、初めてお会いした時から私を温か

く迎え入れてくれました。また、研修として夜勤に同行させて頂いた時も、一つひとつの業務丁寧な教えてくれ、質問にも親身に答えて下さいました。

利用者さんも新人の私に色々協力してくれました。私が物を探している時も、「ここにあるよ!」と場所を教えてくれたり、少し緊張気味の私に、テレビの前で歌ったり踊ったりして、私の緊張を和らげてくれました。

今では徐々にではありますが信頼関係を築けていると思います。初めの頃は、不安なことも多く、業務をこなすのに必死でした。けれども、今では利用者さんと間違い探しの本で遊んだり、テレビを見ながら何気ない会話をしている時間を楽しんでいます。

また、最近では、私が夕食の片付けをしている間に、利用者さん同士で協力しながら洗濯物を干してくれていました。その後

に利用者さんが「洗濯物を干しました!」「お手伝いしました!」と何度も繰り返し伝えてきました。私も同じぐらい何度も「ありがと





「うございます！」と伝えました。その様子が面白くて利用者さんと笑い合ったのが印象に残っています。

私は、利用者さんがグループホームで、安心して楽しく自分らしい生活を送ってほしいと思っています。そのため自分は何ができるのかを常に考えて日々精進していきたいと思っています。

今回改めて振り返ってみて、本当に毎日が充実し、内容の濃い一年でした。これからも笑顔を忘れず努力してまいりますので、ご指導の程宜しくお願い致します。

## 年末年始に旅行に いきたい...という相談

■ みるいリーダー 片岡 正年

皆様お元気でしょうか？

2021年を迎えても中々終息の兆しが見えない新型コロナウイルスス。そんな見えない敵と日々戦っている医療従事者の皆様には頭が下がる思いで一杯です。私たちも感染しないように感染予防を徹底して日々気を付けていきます。

現在も不要不急の外出は自粛してくださいと要請されていますが、外出に関して考え方は皆それぞれです。施設に入所されている方は、外出に関しては



制限を設けており、かなり抑え込む事が出来るのですが、地域で住んでいる方に関しては、自己責任となります。

今回は、私が担当している方から、「毎年年末年始には旅行に行っているのですが、今回もどうしても行きたい」という申し出があったことから、急遽年末に本人を含め関係機関のメンバーが集まった

会議での事案について紹介させていただきます。

中止してもらうためには、ご本人にご納得いただく必要があります。行かれる場合は、感染防止のために以下の条件を納得してもらわなければいけません。

①行き場所は近場限定、②宿泊場所からの外出はダメ（行きたい所に行けない）、③苦手なマスクを着用する、④帰ってきたら1月中旬まで自宅（グループホーム）で待機、というものです。

本人にそれを伝えると、「外出しない」、「ホテルで過ごすから」、「それでもいいからどうしても行きたい」という事なので、約束を



して旅行を認めることにしました。本来ならば安全策を取って中止してもらうのが最善だったかも知れませんが、グループホームでは外出（人混みは行かない）を認めていたのでこのような着地点になりました。

制限が多く感じられますが、その人にとっては譲れない願いだったようです。そんな願いに対して私たち相談員が出来ることは話し合いの場を設け、お互いに納得できるようにしていく事です。

これからも色々な事案が出てくると思いますが一つ一つ丁寧に対応していきたいと思えます。

## あいハート須磨

### 春へむけて

■管理栄養士 澤田 州子

令和三年になり早くも二月を迎えました。今年の冬は昨年より寒い日が多く、雪もパラパラと舞う日もありました。少しづつ暖かいと感じる日も増えてきました。新型コロナウイルスの流行もあり、不安な日々が続いています。利用者様には美味しい食事をしっかりお召し上がりになり、この冬を乗り切っていただきたいと思っています。

あいハート須磨では、季節ごとに行事があります。二月の主な行事は「節分」。節分とは鬼を追い払って新年を迎える立春の前日の行事です。二十四節気において立春は新年の始まりで、節分は大みそかの日だそう。今年には約百二十年ぶりに日付が変わり、二月二日でした。



節分当日には喉詰め防止の為、たまごボーロを使って豆まきをし、昼食には恵方巻(巻き寿司)をお出ししました。豆まきは「鬼は

ー外」「福はー内」と言いながら豆まき、自分の数え年だけ豆を食べると、病気になる、健康でいられると言われています。豆まきには「鬼を打ち払う」と意味と、「鬼に豆を投げ与えて恵み、静まってもう」という二つの意味が込められています。恵方巻きの発祥は諸説ありますが、江戸時代末期に大阪の船場で商売繁盛の祈願として始まったといわれています。恵方を向いて丸かぶりすることで、縁を切ることなく商売繁盛の運を一気にいただく縁起物です。

今年の恵方は「南南東やや南」で、利用者様の中でも数名の方が丸かぶりされ、願かけをされました。自粛ムードが続く、外出行事が減る中、皆様がお元気で日々お過ごし頂けるよう「食べることは生きる」とをモットーに、春へ向け少しでも楽しく美味しい食事を提供できるように工夫していきたいと思っています。

## あいハート離宮前

### 新型コロナウイルスに負けず

■主任 丸毛 教嗣

新型コロナウイルスの影響で先生

が指導してくださるサークルを始め、各種自慢のアクティビティが軒並み中止になり、職員による日々のアクティビティは実施しているものご入居者の方々が居室で過ごす時間が増えたように思われました。このままではダメだと感じた職員一同！何かできる事はないか、密にならず少人数で出来ることを考えていきました。

まずは、毎年恒例の納涼祭です。例年はたくさんの方が参加されにぎやかな雰囲気だったものが、今年は少人数で回数を増やして実施することにりましたが、ご入居者の方々に大変喜んで頂くことが出来ました。

次に、最も希望が多い外出です。しかし、今までどおりは出来ないのでも少人数・短時間で明石海峡大橋を見に行きました。現地での滞在時間はわずか10分程度でしたが、久しぶりに吸った外の空気は皆さんの笑顔を沢山引き出してくれました。

それ以外にもミニ書道サークルやクリス마스会などを密に注意し



ながら実施しました。書道サークルは外出と同様に要望が多く、一回2〜3人での開催でしたが大変喜ばれていました。また、地元小学生との交流会も今年中止になりましたが、先生と相談を重ね小学校に職員が講師として赴いてスライドなどを使用しながら、老人ホームでの生活を紹介させて頂くという初めての取り組みが実現しました。後日、小学校からお礼のお手紙や日々のアクティビティで活用できるゲームなどを頂きました。特に折り紙で作った飛ぶカエルは大変好評でカエルが跳ぶたびに「わー」と笑顔になり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今まで当たり前だったことが当たり前で無くなり、楽しみにされていたサークル活動が縮小しましたが、職員が知恵を絞り協力し合う事で「出来ない」で終わらせず、どうすれば「出来る」のかを改めて考える機会になりました。

まだまだ出来ない事がたくさんありますが、今の状態に負けず職員が一致団結して一歩ずつ前に進み、ご入居されている方々がここにきてよかったと思ってもらえるホームを、これからも目指し続けていきたいと思っています。

## あいハート須磨

特別養護老人ホームあいハート須磨  
常食化プロジェクト

### 【事例紹介】

《「胃瘻」から  
「経口摂取」へ》

前々回249号の  
続きです。



お名前：Nさま  
性別：女性  
年齢：85歳(令和元年11月現在)  
既往歴：アルツハイマー型認知症  
発症前・要介護3

- 食形態：ご飯・粗刻み食 朝食  
アンパン八つ切りを自力摂取
- 口腔ケア：自身でブラッシング  
可能、磨き直し介助
- 移動：自力歩行(毎週日曜日に  
施設周辺を職員と散歩)
- 意思疎通：整合性がない時があ  
るが日常会話は可能

#### ◆平成30年11月14日

レベル低下により救急搬送。脑梗塞の診断あり入院となる。後遺症として軽度麻痺が残る。経口・嚥下機能評価の結果、経口摂取不可との診断があり、12月10日胃瘻が造設される。経管栄養による流動食となる。

#### ◆平成30年12月17日

退院される。ご家族と相談した

際、「口から食べて欲しいと思って  
いる」と経口摂取の意向あり。発  
症以来、寝たきりの状態であった  
ため、喉詰めや誤嚥の危険性を説  
明の上、看護師の管理のもと、ベッ  
ド上ギヤッチアップにて、トロミ水  
から少しずつ経口摂取訓練を開  
始した。また普段より覚醒水準を  
上げるためスタッフが声掛けを積  
極的に行い、口周辺のマッサージ  
も行った。往診時、主治医に経過報  
告し、誤嚥を起こしてはいないか診  
察しながらすすめた。

#### ◆平成30年12月22日

食形態をトロミ食に変更しスプ  
ーン1杯から徐々に提供開始し  
た。

#### ◆平成30年12月24日

食形態を一段階アップし極刻み食  
に変更し少しずつ摂取量を増や  
していった。

#### ◆平成31年1月16日

食形態を小刻み食までアップし提  
供開始した。以前の様な表情が少  
ずつみられるようになり発語も  
増えた。自発的な摂取行動をする  
場面が見られるまで回復された。

#### ◆現在

麻痺の後遺症があり、食事介助は  
必要であるが、朝食はアンパン(そ  
いの目を摂取できるように)になっ  
た。経口摂取が可能になったこと  
で、①食堂で他の入居者と一緒に

食事が摂れるため交流が豊かに  
なった、②離床時間が増え生活範  
囲が拡大した、③褥瘡・肺炎予防  
になった等の効果が見られ、Nさ  
まのQOL向上につながることが  
できた。この症例は「口から食べて  
もらう」という共通の目標達成  
に向けた、多職種連携によるチー  
ムアプローチの成果と考える。

### 4.考察および評価

3年に渡り様々な取り組みを行  
う上で、常食化プロジェクトチー  
ムのメンバー、介護職員だけで行  
うには限界がありました。看護師・介  
護補助・厨房の職員に協力してもら  
うことで実施することができまし  
た。また、取り組みを行うなかで、入  
居者の持っている潜在能力・残存能  
力に着目し、入居者ができることの  
発見につなげることができました。  
以降、誤嚥や肺炎の発症が大きく  
減少し、入院せず施設で生活を送る  
ことができる入居者が増えました。

今後の課題として、現在、夕食前  
に風車・吹き戻しで遊びながら口腔  
機能訓練を行っています。同様に  
楽しみながら継続できることを模  
索し、実施を継続していくことがあ  
げられます。

口腔ケアにおいては、歯磨きが自  
立している方は、ご自身でやっても  
らっています。歯科往診の際に磨

き残しがあると思  
導されることも続い  
ており、職員による  
口腔内の確認、磨き  
直しを行っていく支  
援体制の強化が大  
切であると考えています。

現在、職員の口腔ケア・食事形態  
の安定に対する意識は以前と比較  
して向上していますが、今後もその  
意識を保持できるよう、継続して情  
報発信をしていく必要があります。  
できない・難しいと決めつけるの  
ではなく、想像力と探求心をもって  
取り組み、成功事例をこれからも増  
やしていきたいと思えます。達成感  
を得ることで自信にもつながり職員  
の意識の変化や成長もあると考  
えています。

最後に、常食化プロジェクトが当  
初の目標の常食化75%以上を掲げま  
したが、普通食は令和元年11月時点  
で56%に留まりました。しかし、新た  
に導入した「食材が認識でき、見た  
目にもきれいな小刻み」を含めると  
80%まで達成することができまし  
た。今後も食形態が少しでもアップ  
できるよう様々なことに取り組み、  
入居者が最後まで常食を口から安  
全に美味しく食べるということを目  
標に支援していきたいと思えます。  
ご協力いただいた方々に感謝い  
たします。



# 新しい介護イノベーションの活用による変革

あいハート離宮前  
施設長 古崎徹



平素はあいハート離宮前の運営にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、今回は令和3年度に導入を目指して見守りシステムについてお話をさせていただきます。

当ホームではフロア別のユニットケアや国の基準を上回る2.5:1の介護・看護職員の配置を採用しております。家庭的な雰囲気です厚いサービスをご提供することを目指していますが、このような配置であっても定員と労働日数から算出される1日当りの職員数は12名に過ぎず、日中は夜勤と夜勤明けを除いた8名の職員が4フロアに2人ずつ分散し、うち1名は午前・午後ともに専ら入浴介助に従事します。ですから、約10名のご入居者の対応を別の職員1名が担うことによる安全や安楽に関する課題を慢性的かつ構造的に抱えています。



まず安全面では、あるご入居者の介助中には他のご入居者の危険察知ができないことや、ナースコールが同時に鳴動した時点で緊急性の順位が確認できないという課題があります。特に夜勤では職員が駐在していないフロアの事

故の未然防止や早期発見といった課題もあり、不幸にして発生した事故が居室やトイレなどの密室で認知症のご入居者であると発生原因は想像に依存せざるを得ない場合が多く、再発防止策の精度と立案に時間が掛かるといった問題が生じます。また、ご家族様と事故原因の共通認識が得られず再発防止策が受け入れられないケースが稀に発生するといった課題も抱えています。

一方安楽の面では、安否確認のための巡視に於いて必ずしも必要ではないプライバシーへの介入が起ることや、夜間の覚醒を引き起こし良質な睡眠を妨げるという課題があります。

ある大学の研究によりまずと、十分注意を払って「起こさなかつた」と職員が思っている巡視に於いても、退室後に多くのご入居者で眠りが浅くなったり覚醒することがあるなど、わずかな音や光、人の気配、温度の変化や空気の流れなどによって眠りを妨げることがあると報告されています。



更に、職員面談では対応の優先順位が分からなかつたために防げなかつた事故をずっと悔んでいる職員に接することがあり、このよう

な事案によってストレスや精神的負担を抱えることも解消すべき重要な課題であると考えています。

以上のような課題は職員の更なる加配によって解決するのかもしれませんが、介護保険報酬は人件費の積算や利益率などをもとに国が決定しますので、国の基準を大幅に逸脱した職員配置では経営が成り立たなくなりそうです。選択肢にはなりません。よって、当ホームでは居室のセンサーが異常を感じた際に十分にプライバシーへの配慮が施されたカメラの映像とともに、職員の端末に即時に通知する最新の介護イノベーションを活用することでこれらの課題の解決を図りたいと考えています。

導入後の成果は別の機会にお伝えすることにしますが、見守りシステムの活用は事故の再発防止に係る業務や巡視体制の効率化による時間外労働の削減、動線の改善による身体的負担の軽減にも寄与すると考えられますので、子供が幼少で残業がでない職員や中高年の職員など、あらゆる職員にとって働きやすい職場環境が創造でき、採用や離職防止にまで貢献するものと期待しています。



# 令和2年度 第3四半期 運営状況

令和2年4月1日から12月31日までの累計

資金収支計算書	本部	愛の家+きぼう	あいハート須磨	あいハート離宮前	脳梗塞リハビリ ステーション神戸須磨	合計※
介護保険事業収入	0	0	376,160,129	77,136,502	0	453,296,631
老人福祉事業収入	0	0	0	94,233,588	0	94,233,588
リハビリ等事業収入	0	0	0	0	6,789,200	6,789,200
児童福祉事業収入	0	58,635,690	0	0	0	58,635,690
就労支援事業収入	0	1,981,282	0	0	0	1,981,282
障害福祉サービス等事業収入	0	264,186,646	0	0	0	264,186,646
経常経費寄付金収入	10,859,231	108,000	531,380	5,000	0	11,503,611
受入利息配当金収入	880,535	27,993	38,284	358	34	947,204
その他の収入	0	2,188,992	6,677,177	2,072,766	555,494	11,494,429
事業活動収入計(1)	11,739,766	327,128,603	383,406,970	173,448,214	7,344,728	903,068,281
人件費支出	18,620,980	219,901,193	294,850,759	117,616,397	8,261,308	659,250,637
事業費支出	183,575	55,436,440	48,598,970	24,950,742	636,401	129,806,128
事務費支出	7,792,697	43,957,996	36,865,117	18,094,869	4,753,016	111,463,695
就労支援事業支出	0	2,328,640	0	0	0	2,328,640
利用者負担減免額	0	0	64,139	0	0	64,139
支払利息	0	0	0	1,970,106	0	1,970,106
その他の支出	0	822,972	4,912,009	2,034,900	0	7,769,881
事業活動支出計(2)	26,597,252	322,447,241	385,290,994	164,667,014	13,650,725	912,653,226
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-14,857,486	4,681,362	-1,884,024	8,781,200	-6,305,997	-9,584,945
施設整備等収入(4)	0	0	0	12,000,000	0	12,000,000
施設整備等支出(5)	0	7,120,520	17,125,243	23,590,086	0	47,835,849
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	-7,120,520	-17,125,243	-11,590,086	0	-35,835,849
その他の活動収入計(7)	16,550,000	550,000	41,240,784	892,219	10,800,000	70,033,003
その他活動による支出(8)	12,379,983	7,618,640	10,390,188	2,899,388	89,186	33,377,385
その他活動収支(9)=(7)-(8)	4,170,017	-7,068,640	30,850,596	-2,007,169	10,710,814	36,655,618
当期資金収支差額合計(3)+(6)+(9)	-10,687,469	-9,507,798	11,841,329	-4,816,055	4,404,817	-8,765,176

※合計欄は内部取引消去により各拠点の合計とは一致しません

ボランティア 活動状況※	愛の家			あいハート須磨・離宮前			合計		
	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計
利用者支援	0	0	0	0	97	97	0	97	97
施設運営(行事等)	0	8	8	0	9	9	0	17	17
施設整備	0	0	0	126	0	126	126	0	126
合計	0	8	8	126	106	232	126	114	240

※新型コロナウイルスの影響により、受入れを制限しております。

事故発生状況	愛の家			あいハート須磨・離宮前		
	受診	診察不要	計	受診	診察不要	計
転倒による裂傷、骨折等	0	0	0	6	0	6
誤飲・誤嚥・誤薬	0	0	0	1	0	1
裂傷、骨折、その他	2	0	2	0	0	0
無断外出	0	2	2	0	0	0
合計	2	2	4	7	0	7

お客様の声承り状況	愛の家	あいハート 須磨・離宮前	合計
ケア・支援内容	1	3	4
接客態度	0	1	1
嗜好・要望	0	3	3
設備・備品不備	0	2	2
その他(家族対応等)	0	1	1
御礼	0	3	3
合計	1	13	14

ご支援を  
くださった方々

〈1月〉

- 後援会費  
NTT労働組合  
コミュニケーションズ本部 関西分会 様
- NTT労働組合 持株グループ本部  
NTTファイナンス関西分会 様
- 寄贈品  
ダスキン 様

(計3件)

# おかげさまで50周年

2021年1月8日に、全電通近畿社会福祉事業団は法人設立50周年を迎えることができました。

記念日当日には、「NTT労働組合中央本部執行委員長 喜井 広明 様」より立派なお祝い花をお贈りいただきました。お心遣いを賜り厚くお礼申し上げます。



理事長 嶋本 佳和

## 50周年記念事業につきまして

この度、法人設立50周年記念事業といたしまして、『記念式典の開催』『社史の制作』『法人サイト(50周年記念サイト含む)及びパンフレットのリニューアル』など、主に3つの計画を立て、実施に向け取り組んでまいりました。

50周年記念式典につきましては、当初1月開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、一旦延期することとしました。

今後、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら開催方法や開催内容について慎重に検討し、準備していくこととしております。決まり次第本誌や法人サイトを通じてご案内させていただきます。

リニューアルいたしました「法人Webサイト及び50周年記念サイト」はURLをご案内させていただきますので、ぜひご覧ください。

◆法人サイトはこちらから

<https://zendentu-kinki.jp/>



◆50周年サイトはこちらから

<http://50th.zendentu-kinki.jp>



社史に掲載しております年表(50年のあゆみ)や、歴代理事、NTT労働組合役員、現役職員でそれぞれ実施しました3つの座談会の模様も掲載しております

法人ビジョン「新たな50年に向け、発展する組織、成長する職員であり続けます。」の実現に向けて様々な取り組みを進めてまいりますので、引き続き当法人の事業活動にご理解いただきますとともに、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

法人本部事務局長 高岡 順二

### 【皆様の声】受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 ..... 072-494-0123
- あいハート須磨 ..... 078-737-2525
- あいハート離宮前 ..... 078-731-2130
- 法人本部 ..... 06-6458-5723

### 【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団  
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73  
TEL 06-6458-5723

Website <http://zendentu-kinki.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>

E-mail [jigyodan@silver.ocn.ne.jp](mailto:jigyodan@silver.ocn.ne.jp)

### 【発行人】

理事長 嶋本 佳和

